

「被害者ノート」について

途切れない支援を被害者と考える会

20150522 主管課室長会議

1



被害に遭われた方の状況

20150522 主管課室長会議

2

被害直後

- あまりに突然の予期せぬ出来事に、体も心も頭も動かない。
 - 信じられない、現実感がない
 - 感覚の麻痺のため恐怖や痛みを感じない
 - 何も考えられない
 - 周りが見えない
 - 自分への不信感
 - 体の反応（ドキドキ、冷や汗、手足に力が入らない、過呼吸）

- この時には、周りのひとからは、ぼうっとして見えたり、逆に落ち着いて見えたりしている
- 支援が必要な状態と理解されないこともある



中長期的な反応

- 被害後のショック状態が落ち着いた後も様々な症状や反応が出てくる
 - 精神的不調
 - 気持ちの動揺、混乱
 - 自分の気持ちが一致しないような感覚
 - 事件のことがよみがえる
 - 神経が興奮し落ち着かない
 - 自尊心を失う
 - 孤立感
 - 信頼感を失う

20150522 主管課室長会議

5

● 身体的な不調

- 眠れない
- 頭痛、めまい
- 吐気、嘔吐、胃のむかむか、食欲がなくなる、下痢、便秘
- 体がだるい、疲れやすい、微熱
- 腹痛その他の痛み
- 月経不順、月経痛



20150522 主管課室長会議

6

生活上の問題

● 仕事の困難

- 精神的・身体的な被害のために、仕事上でミスをしたり、仕事の効率が落ちたり、職場の同僚との関係がうまくいかなくなることもある
- 治療のための通院、捜査、裁判手続きのためのやむを得ない欠勤が続き、周囲に気兼ねをすることになったりする
- 職場での理解が得られず辞めざるをえなくなることも

20150522 主管課室長会議

7

● 住居の問題

- 捜査上の要請などで一時的に自宅を使用できなくなる
- 自宅が事件現場になり再被害の危険がある
- 殺人や傷害の現場となりそのままの使用に堪えない
- 近隣の噂などで耐え難い精神的な苦痛がある



20150522 主管課室長会議

8

- 経済的な問題

- 生計中心者を失うことによる困難
- 口座凍結で預金を引き出せないなど
- 精神的な問題により仕事を失う
- 直後から警察や病院に急行するためのタクシー代、亡くなった時の葬祭費など
- 警察署や裁判所に出向くための交通費、宿泊費、訴訟のための複写代、弁護士費用など

20150522 主管課室長会議

9

- 家族関係の変化

- 被害を受けた本人だけでなく、ご家族もショックを受け、お互いを支えあう精神的な余裕を失いがち
- 家族各人のストレスの感じ方、被害に対する捉え方や考え方が違うことから感情の表し方、対処方法が違う
- そのことから家族内でのいさかいが起こったり、場合によっては家族崩壊に至ることもある
- 被害者が子どもで、兄弟がある場合十分に愛情を注ぐことが難しくなることもあり、後に影響が出ることも

20150522 主管課室長会議

10



途切れない支援が必要

20150522 主管課室長会議

11

途切れている支援



一つひとつの支援がつながっていない

20150522 主管課室長会議

12